

令和6年度
高浜市介護保険サービス事業所 第三者評価
報告書

令和7年2月

高浜市介護保険審議会 第三者評価部会

I 令和6年度 高浜市介護保険サービス事業所第三者評価

1. 全体概要・各事業所評価

1) 対象事業所

令和6年度において、第三者評価の対象となった事業所は次のとおりです。

No.	事業所名	サービス種類	回数	事業開始年度	ヒアリング実施日
1	地域密着型サテライト型特別養護老人ホーム いこいの宿高浜安立	地域密着型 介護老人福祉施設	3	令和3年度	令和6年12月6日
2	みんなの訪問看護 リハビリステーションすまいる	訪問看護	3	令和3年度	令和6年12月17日
3	デイサービスさんぼ	地域密着型 通所介護	1	令和5年度	令和6年12月12日
4	グループホームがじゅまる	認知症対応型 共同生活介護	1	令和5年度	令和6年12月20日

◆評価対象事業所

- ・市内で新規にサービス提供を始めた事業所 <事業開始の翌年度から3年間実施>
- ・3年目に、A評価が90%以上かつB評価以上（C・D評価がない）になれば、評価は終了となる。

2) 評価結果一覧

No.	事業所名	評価結果					評価概要
		計	A	B	C	D	
1	地域密着型サテライト型 特別養護老人ホーム いこいの宿高浜安立	42	42	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度高評価だった取組みは継続している。 ・満足度調査や外部評価を実施し、サービスの質の向上に努めている。
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
2	みんなの訪問看護 リハビリステーション すまいる	28	28	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度未着手だった中・長期的な事業計画と研修計画が作成されていた。 ・看護師や作業療法士独自の視点・知識からサービスの提案等ができる点や、ACPの観点からのケアを大切にしている点が評価できる。
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
3	デイサービス さんぼ	41	0	35	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップのための目標設定や災害時の連絡体制の整備が一部未着手。 ・地域社会との連携が確立されていないため、今後の改善を期待。 ・相談の受付体制や、食事支援については独自の工夫が見られた。
		100.0%	0.0%	85.4%	12.2%	2.4%	
4	グループホーム がじゅまる	45	44	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れのルールが明文化されていない。 ・利用者の残存能力を生かすため、不必要な支援を行わない配慮が徹底されている。
		100.0%	97.8%	2.2%	0.0%	0.0%	

サービス提供事業所別 評価結果

評価結果

3回目の評価です。すべての評価がA評価でした。

新型コロナウイルスが5類になり厳しい規制が徐々に解除され、面会やイベントでの参加者の規制緩和やボランティアの受け入れ再開など、少しずつコロナ禍前の状況に戻りつつあることが確認できました。

評価については、昨年度に引き続き全ての項目でAでした。特に評価できる項目は下記のとおりです。

・利用者やスタッフの意見、要望をサービス計画等に取り入れるために満足度調査実施していること

・抜き打ちテストの実施により、常に権利擁護や虐待に対する意識を持つようにしていること

・サービスの質の向上のため、第三者機関による外部評価も定期的実施していること

・回想法などを活用し、残存能力を生かせるよう利用者に働きかけていること

・排泄介助、認知症介助については、なるべく薬に頼らないようにしていること

全体的な評価としては、科学的な観点をういて定量的な分析ができてい一方で、入所前の情報により、生活や入所者の好み・性格などを尊重し、なるべく入所前と同じような気持ちで生活できるように配慮がされていることがわかりました。また、各職員の能力把握や技術の習得についても、本体施設と連携し管理されており、組織全体でサービスの質を向上させるという意識があることが確認できました。

	A評価		B評価		C評価		D評価		計	
	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合
令和4年度	19	44.2%	22	51.2%	1	2.3%	1	2.3%	43	100.0%
令和5年度	42	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	42	100.0%
令和6年度	42	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	42	100.0%

No.2 みんなの訪問看護リハビリステーションすまいる

評価結果

3回目の評価です。すべての項目がA評価でした。

ヒアリングをしていく中で昨年同様、管理者の仕事への熱意、サービスの質への自信と誇りが感じられました。

また、事業経営が軌道に乗りつつも、厳しい状況には変わらない状況の中でも、マニュアル等がしっかり整備されていることが確認できました。

前年度未着手だったためC評価だった、サービスの質の向上に向けた中・長期的な事業計画の作成と、職員の質の向上に向けた研修計画の作成については、新たに導入されたシステムを活用し、着手されていることが確認できました。

前年度B評価だった項目については、次のような独自の工夫が確認できました。

- ・契約時に法人の経営理念や基本方針について、パンフレット等を用いて十分に説明するようにしていること
- ・新たなシステムを導入し、全ての職員が研修や勉強会を受けられるよう環境が整備されていること

サービスの提供に関しては、管理者をはじめ、経験年数豊かなスタッフが揃っているので質の高いサービスの提供がされていることが確認できました。

いつか訪れる「死」についても利用者本人やご家族ともしっかり話し合っって細かなアセスメントが出来ている点、ACPの観点からのケアや関係機関との連携を図る点などが評価できました。

	A評価		B評価		C評価		D評価		計	
	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合
令和4年度	17	58.7%	5	17.2%	5	17.2%	2	6.9%	29	100.0%
令和5年度	24	85.8%	2	7.1%	2	7.1%	0	0.0%	28	100.0%
令和6年度	28	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	28	100.0%

評価結果

1回目の評価です。全 41 項目中、A 評価0項目（0%）、B 評価35項目（85.4%）、C評価 5 項目（12.2%）、D評価 1 項目（2.4%）でした。

職員の資質向上にあたり、知識や技術等の習得に向けた目標設定、食事支援の栄養管理についての栄養士等との調整、事故や災害時の連絡体制の整備について未着手な部分がありますが、事業所としても問題意識は持っていて、改善が見込める状況です。

地域社会との連携については、具体的な取り組みが確立されていないことからD評価となっていますが、事例などを紹介し、今後の改善を期待したいところです。

A評価には至りませんでした。下記のとおり評価できる点もありました。

- ・管理者は24時間体制で相談連絡を受け付けていること
- ・連絡帳を用いて利用者のニーズを把握したり、意見交換をしたりしていること
- ・連絡事項や相談内容をスマホアプリを活用して全職員で共有し、管理者からの指導や助言ができる環境が整っていること
- ・送迎時でも利用者のニーズを把握するための対話を意識していること
- ・楽しんで食事をしてもらうため、バイキング形式での食事方法を取り入れていること
- ・機能訓練や認知症の対応について、通所計画を基に適切に対応していること

	A評価		B評価		C評価		D評価		計	
	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合
令和6年度	0	0.0%	35	85.4%	5	12.2%	1	2.4%	41	100.0%

No.4 グループホームがじゅまる

評価結果

1回目の評価です。A評価44項目（97.8%）、B評価1項目（2.2%）でした。

ボランティア受け入れに関しては、ルールなどの基本的な考え方が明文化されていないことからB評価となっていますが、守秘義務などの注意事項については事前に口頭説明しています。受け入れの記録についてはタブレットに残すようにしています。

その他、A評価の項目について特に評価できる項目は以下のとおりです。

- ・職員玄関以外の施錠はせず、自由に建物内外へ移動ができること
- ・職員同士の意見交換用のノートが用意され、些細なことでも相談や共有ができる環境となっていること
- ・面会制限もなく、面会時間内であれば家族友人問わず訪問が可能であること
- ・残存機能と現在の能力を評価し、できるところは手を貸さずに見守るようにしていること
- ・利用者一人ひとりの支援方法が整理されており、どの職員が対応しても統一された支援ができるようにしていること

全体的な評価としては、自主性を促すために生活空間内の動線を整え、必要な物品をアクセスしやすい位置に配置したり、過度な介入をしないよう、声掛けメインでの支援をしたりと、利用者の残存能力を生かすための生活環境を整えることを最優先事項とし、不必要な支援を行わない配慮が徹底されていることが確認できました。

	A評価		B評価		C評価		D評価		計	
	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合
令和6年度	44	97.8%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	45	100.0%

2. 総括

1) 評価される点

どの事業所においても、利用者へのサービス提供や説明において、権利擁護や利用者本位のサービス選択や自立支援を意識しており、基本的な質が確保されたサービスを提供できています。

2) 改善への提言

地域社会との連携や、計画の策定や評価・改善などは、法人が有しているノウハウや法人の規模によって取組状況が異なり、小規模な法人かつ開設から間もない事業所へは、好事例を紹介し事業所自身がサービスの質の向上につながる取組を検討できるよう、支援する必要があると感じました。

3. 評価結果の公表について

市民・・・いきいき広場の介護保険申請窓口の評価結果を置き、いつでも閲覧可能とします。

事業所・・・第三者評価部会での意見をふまえた結果を事業者へ報告します。